

ことばの教室 自立活動学習指導案

日 時 平成26年10月6日(月) 5校時
 児 童
 授業者

1 題材名 チャ行音を正しく発音しよう

2 題材について

(1) 児童について

A児は、小学校入学と同時に週2回通級してきている。1年生指導開始時当初(平成25年5月) A児の誤り音は、イ、キ・ケ・キャ行、ギ・ゲ・ギャ行(鼻濁音も)、ジャ行、チャ行、ニ・ネ・ニャ行、リ・リャ行に見られる側音化構音と、リャ行、ピャ行、ビャ行が未熟であった。中舌が盛り上がると同時に顎が左にずれることがあるため聞き取りにくい音になっていた。特にチとキは判別がむずかしく、A児自身も気にしていた。

1年時では、イの指導から始め、ヤ行、ケ、キ、キャ行、ゲ、ギ、ギャ行と学習し、ニとギ(鼻濁音)の違いと発音指導後、「シ」の学習に進んだ。1年生末の発音の状況は、イとヤ行は、会話の中でも改善したが、ケ・キ・キャ行をはじめニャ行までは、単語レベルまでの改善である。音読レベル、会話レベルでは、まだ定着していなかった。特に学習音の中でも、キ・ギ、キャ行・ギャ行は、音読や会話で気になる発音がみられた。

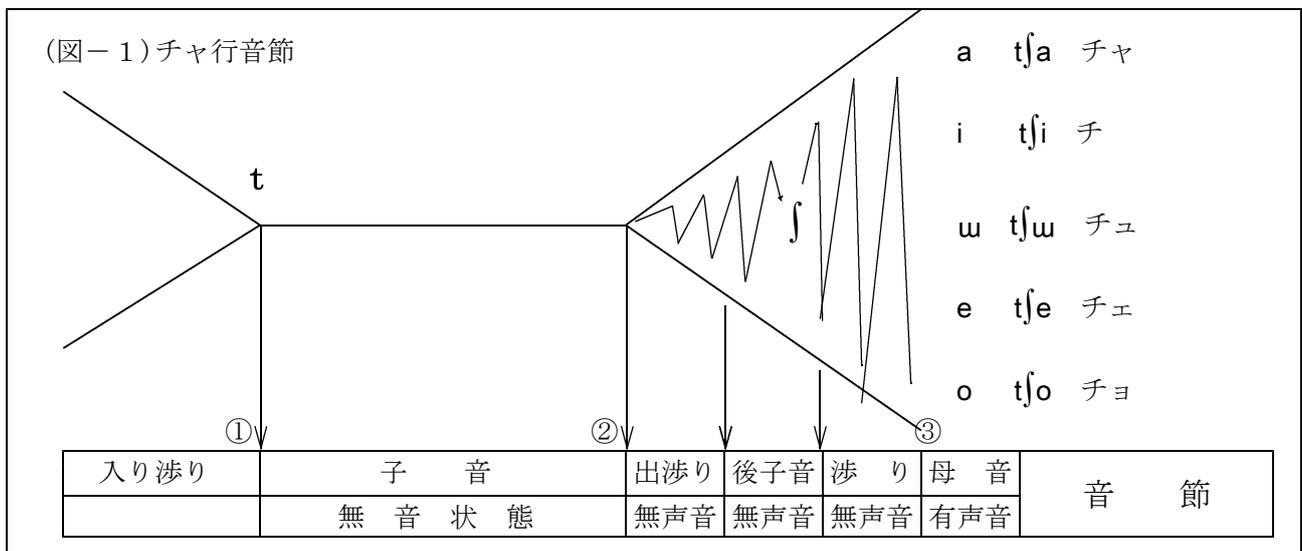
2年生になって、1学期は「シ」の指導を短文まで行い、舌に気を付けて発音するようになってきた。2学期に入り、チャ行音の発音のベースになるシャ行音とタ行音の指導を行ってきた。

本児の発音に対する意識は高く「きれいに発音したい」という思いを強くもっている。他者弁別はできるが、自己弁別については評価が甘く、学習音が、音読レベル、会話レベルでは定着していない。

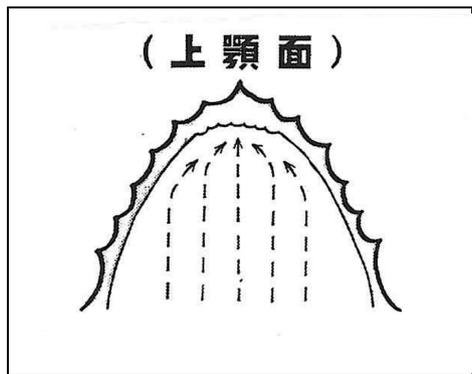
(2) 学習する音について

チャ行音の構音の仕方は、図-1の通りである。チャ行音の子音[tʃ]は、破裂させると同時に摩擦させる音である。

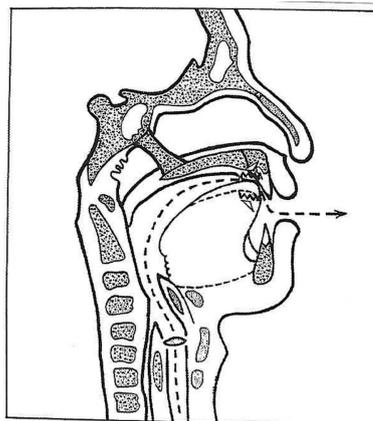
①[t]の構え(図-2)で、舌先を上歯茎につけて息をせき止めた後、②急に舌先を下げて[ʃ]音の構えをつくると破裂に引き続いて摩擦が起こり、歯擦音[tʃ](図-3)になる。③[tʃ]に母音[a,i,u,e,o]を接続すると「チャ、チ、チュ、チェ、チョ」になる。



(図-2) [t]の舌の構え



(図-3)チャチチュチェチョの子音[tʃ]



※ 図-1～3は 濱崎健治・著「臨床音声学の理論と実際」(平成元年発行)より引用

(3) 指導にあたって

チャ行音の矯正のためには、[i]と[ʃ]の改善を図ってきた。チャ行音の指導は、それぞれの音をていねいに結合させ、正しい音節として完成させたい。

指導の手順は、まず[tʃ]の練習をし、次に[tʃ]と[ʃ]を結合させる。その後[tʃ]を短くし、[tʃ:]にする。最後に母音をつけて音節として完成させる。チ→チャ行の順で行う。

正しい発音が身に付くように、耳の訓練を大切に扱いたい。特に、随所に自己弁別を行うが、それに対する教師の正しい評価を伝えることで自己修正力を養い、確かな発音の定着を図っていききたい。

3 題材の指導目標

- ・チャ行音の構音方法がわかり、正しく発音することができる。
- ・音読や会話でも、正しい発音で話そうという意識をもつことができる。

4 題材の指導計画 (15時間扱い)

学 習 内 容	学 習 活 動	時間
「チ」の音節をつくろう	[ti]と[ʃi]から正しい「チ」をつくる。	3
「チ」を連続で発音しよう	正しい「チ」を連続音で発音し強化する。	1
「チ」を他の音とつなげて発音しよう	母音や他の音と連結して正しく発音する。(無意味語)	3
チャ行音を発音しよう	「チ」に母音[a, u, e, o]を連結してチャ・チュ・チェ・チョをつくる。	1 (本時)
チャ行音のつく単語を発音しよう	単語の中で正しく発音する。	3
チャ行音の入った短文を読もう	短文の中で正しく発音する。	3
学習のまとめをしよう	音読の中で正しく発音する。	1

5 本時の指導

(1) 目標

チャ行音の構音の仕方を理解し、一音で正しく発音できる。

(2) 展開

領域等	学習内容・活動	時間	○支援の手立て ◎留意点 ★評価	教材・教具
学習内容の把握	1 本時の学習内容を知り、目標をもつ。 めあて チャ行を正しくはつ音しよう。	5	○見通しをもって取り組めるよう学習内容を書いておく。 1 会話 2 ぼ音はっせいれんしゅう 3 したじゃんけん 4 ストローふき 5 せんべいとり (tのした) 6 聞き分け 7 チャ行のべんきょう (音せつ作り)	ホワイトボード チャ行の学習カード 学習カード
母音指導	2 母音発声練習を行う。 (1) 1音ずつ練習する。 ・長音 ・1音 ・2～5連続音 (2) 口形保持で、2音連結を行う。 (3) くちのたいそう 5を行う。	5	○正しい口形が保てるように、母音カードと鏡に写った自分の口を見るように声かけをする。 ◎アオウエイの順で練習する。 ○張りのあるしっかりとした声で発音するように声をかける。	鏡台付き机 母音口形カード メトロノーム 「くちのたいそう 5」のカード
機能訓練	3 安定した舌をつくる練習をする。 (1) 舌じゃんけんをする。 (2) ストロー吹きをする。 (3) ウェーファで [t] の舌の位置を確認する。	7	○チョキ(舌丸め)をより多く出すようにすることで舌丸めを強化する。 ○呼気を舌の中央から出すようにストローの位置を調整する。 ○ [t] の舌の位置が確認できるように、ウェーファを貼り付ける。	ストロー コップ (水) ウェーファ 舌位カード
耳の訓練	4 チャ行音の聞き分けを行う。 (1) チの正誤弁別をする。 (他者・自己) (2) チャ行音の聞き分けをする。	5	◎「チ」音に対する音感を高めるために弁別を行う。 ○児童が誤った自己評価をした時は、ICレコーダーを活用して、教師から正しい評価を伝える。 ○単語カードを見せることで、どの音か分かるようにする。	衝立 ICレコーダー 単語カード
発音指導	5 チャ行の発音練習をする。 (1) チの習熟練習をする。 (2) チャ行音の構音法を知り、発音練習をする。 ・チ+ア →チャ ・チ+ウ →チュ ・チ+オ →チョ ・チ+エ →チェ	18	○チが正しく構音できるように、前時の学習を振り返らせてから練習する。 ○口形カードを使い、舌の形が正しかったか弁別できるようにする。 ◎繰り返し練習し、定着を図る。 ★チャ行音の構音方法が分かり、1音で正しく発音できたか。	文字カード 母音口形カード

学習のまとめ	6 学習の振り返りをする。 ・学習カードの「ふりかえり」欄を記入する。 7 次時の学習内容を知る。	5 ◎本時の学習で、頑張ったことを思い起こし、がんばったことへのご褒美に学習シールを貼る。 ○次時の学習内容を知らせ、次時の学習の意欲付けをする。	学習カード 学習シール
--------	---	--	----------------

(3) 評価

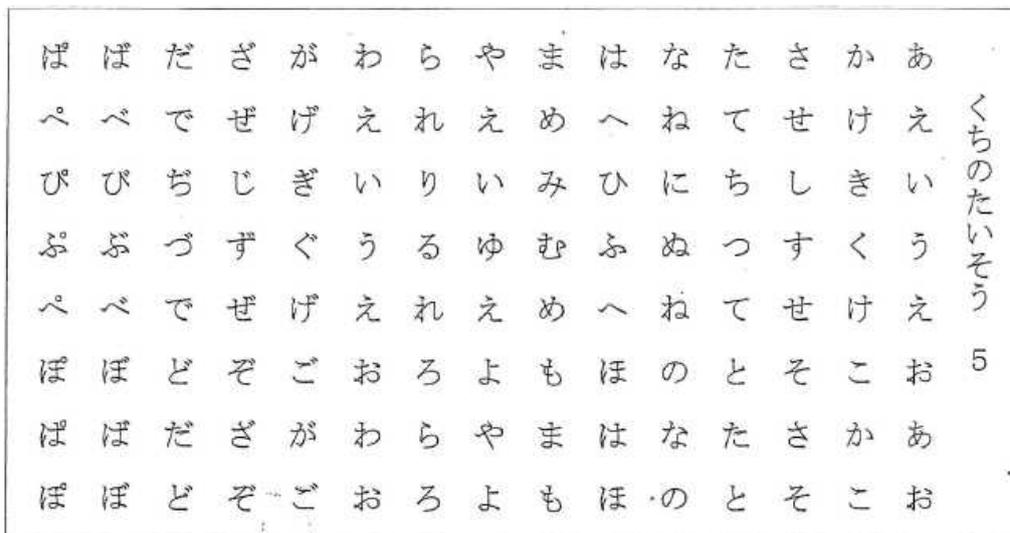
チャ行音の構音の仕方を理解し、一音で正しく発音できたか。

(4) 教材・教具

①母音口形カード



②「くちのたいそう5」



③舌位カード

